

生成 AI の利用に関する文書について 追加説明

先日、保護者の皆様宛てに、生成 AI の利用についての説明文書と保護者同意書を配布させていただきました。説明文書では、「生成 AI を教育活動に取り入れていくという学校の方針」と「学校外での生成 AI 利用についての注意事項」についてお示ししましたが、本校がこの方針を取る意図やねらいについての説明が不足しておりましたので、以下に追加でご説明します。

生成 AI を教育活動に取り入れていくという方針は、AI をツールとして活用し、これからの社会に価値を生み出す新しいアプローチを見つけ出す能力を育成することが一番の狙いです。また、通常の社会生活においても重要な力となる言語化能力、自分のアイデアや考えを正確に、漏れなく伝える力を向上させることも期待しています。高校生段階から AI を活用する経験を積んでいくことで、これからの社会に必須の能力である、情報を検証し、真偽を判断する能力も同時に身につけて欲しいと考えています。

課題の取り組みで安易に使用してしまったり、著作権等の権利を侵害してしまったりする負の側面も懸念されますが、本校の生徒は、自分のすべきこと、すべきでないことの分別がつく生徒たちです。多少の試行錯誤ののちには、自分たちの将来のキャリアに必要な強力な武器として AI 活用能力を身につけてくれるものと信じています。

AI がますます重要な役割を果たす現代社会において、彼らが自信を持って未来に進むために必要なスキルや思考力を養えるよう教員も知恵を絞っているところです。何卒、ご理解、ご協力いただけると幸いです。

補足ですが、保護者同意をいただく際にお読みいただく ChatGPT の規約は現在英語のみとなっております。変更等も考えられるため、学校側で翻訳はいたしません。Google 翻訳や DeepL など、ブラウザ上で無料利用可能な翻訳サービスもございます。ご不便をおかけしますが、各家庭で翻訳の上、ご確認ください。